

第 2 回

令和7年度使用播磨町教科用図書選定委員会

議 事 録

令和6年7月26日（金）

高砂市ユーアイ帆つとセンター

司会：今日は、播磨町教科用図書選定委員会規則第5条により、委員4名の出席がございましたので、ただ今から、第2回 令和7年度播磨町教科用図書選定委員会を開催します。なお、本日の議事録については、採択期間終了後には公開の対象とさせていただきます。それでは 委員長から、開会のごあいさつをいただきます。

【委員長挨拶】

司会：ありがとうございました。

事務局：協議に入る前に、7月3日～7月16日の期間、播磨町中央公民館で開催された「教科書展示会」につきまして、事務局から報告いたします。

教科書展示会は、教科書の発行に関する臨時措置法第5条、「都道府県の教育委員会は、毎年、文部科学大臣の指示する時期に、教科書展示会を開かなければならない。」「教科書展示会に関しては、文部科学省令をもってその基準を定める。」に基づきまして、兵庫県では、県下39の教科書展示会場で、令和6年6月14日から7月18日の期間内で14日間、法定展示会が開催されました。

播磨町では、東播磨第5会場担当として、県教育委員会から委嘱されました。令和6年3月29日付け文部科学省通知「令和7年度使用教科書の採択事務処理について」には、「教科書の発行に関する臨時措置法（昭和23年法律第132号）第5条の規定に基づいて教科書展示会を14日間（法定展示期間）開催すること」、「広く地域住民の方々が、展示会に参加できるよう工夫すること」とあります。

それを受け、法定展示期間の7月3日から7月16日までの14日間、播磨町中央公民館で開催し、155名の方に来場いただきました。

以上です。

司会：先ほどの報告に関しまして、何かございませんか。

それでは、レジュメ4 協議事項にうつります。

ここからの議事進行は委員長にお任せいたします。委員長、よろしく願いいた

します。

委員長：それでは、二市二町合同での調査員会班長からの報告を参考に、協議を行いたいと思います。各教科、出版社ごとに付された意見をまとめる形の選定委員会報告書となりますので、各教科、出版社ごとにご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

①国語科教科用図書の選定について

委員長：それでは、はじめに国語です。東京書籍についてご意見をよろしく願います。

委員：古典に特徴があるかなと感じました。「浦島太郎」や「伊曾保物語」など生徒に昔話としてなじみの深い作品が入っているというようなことが一つ特徴としてあったと思います。それと、個人的にはユニバーサルデザインの観点からも文字の大きさや色の使用等の配慮があり、紙面が見やすいと感じました。

委員長：1年生の88、89ページに本の紹介があり、1つの教材を学習した後にこういった本の紹介があって、生徒が興味を持ってさらに学びを深めていけるような形に繋がっていると感じました。

委員：日本語探検や漢字道場など言葉の力を大切にしている構成になっていると感じました。さらに、他教科で学ぶ漢字というものもあって、ユニークでいい取り上げ方をされていると感じました。

委員：教科書を眺めてみた感じの1ユーザー的な視点で言いますと、東京書籍は学びの手引きにあたる教材文の結合部分あまり目立たなく、生徒はスルーしてしまうのではないかと感じました。もっと強調すると、生徒が興味を持って自主的に学習するのではないかという印象を受けました。

委員長：続いて三省堂についてご意見をよろしく願います。

委員：現行が三省堂ですが、1年生の「竹取物語」はイラストが大きく掲載され、はじめに現代語訳がある。意図するところがあると思うが、古典の学習として落ち着いて文字と対峙する上でどうなのかなと思いました。また俳句の学習で夏井さんを取り上げるなど、生徒の視点に立って、生徒の興味をひく工夫があると感じました。表紙や写真、挿絵などにもそのような工夫があると思います。さらにデジタルコンテンツもちりばめられていると思いました。

委員：最初にある教科書の作りとか学びの説明が三省堂は読みやすく、すっきり整理されているなどと思いました。読書の世界の充実ということで、「小さな図書館」というコーナーがあって、二次元コードを開けば、作品の一部を読むことができるなど、読書の意欲を高めるしかけがありました。それから、主体的・対話的で深

い学びというのはどの教科でも言われているが、グループディスカッションを取り上げていて、バランスのとれた教科書であると思いました。

委員長：私は1年生の教科書の196ページに小倉百人一首があって、興味のある子にとっては面白いだろうなと思いました。それから、「日本文学名作集」で時代ごとに文学誌が整理されていてわかりやすいと感じました。

委員：字がはっきりして見やすいという印象を持ちました。また、1年生では防災に関する内容の話があり、2年生では環境の話でSDGsの視点があって、3年生ではキャリア教育との関連があって、広い視野で国語を学習することができると感じました。

委員：書面が綺麗ですね。読みやすい。「学びの道しるべ」として学びを深めていくための手立ても生徒にとってわかりやすく、ユニバーサルデザインの観点からもいいと思いました。

委員長：続いて教育出版です。ご意見ある方はよろしくお願いたします。

委員：1年生が聞くことの学習からスタートしていて特徴的であると思いました。国語の学習において聞くことは非常に重要なことですので、いいことだなと思いました。

委員：広がる本の紹介として、それぞれの章ごとの関連図書が扱われ、生徒を読書へいざなうしかけがあり、興味を惹かれました。また、新出漢字を生徒が意識しやすくなるようにする等、ことばを大切にされた構成になっていると思いました。

委員：ユニバーサルデザインの観点から色の使用等、優しい色使いがあって工夫されているように思います。しかし、以前から変わり映えしないという印象を持ちました。

委員：文字が少し細い気がします。しかし、挿絵やカットはユニークで優しい感じがします。また、「学びナビ」は、生徒にとって授業の見通しを持ちやすいように感じました。一方、教師にとっては多様な授業展開が難しいかもしれません。

委員長：それでは続いて光村図書です。

委員：読み物教材の文字数が多く、落ち着いて文学と触れ合える良さがありますが、苦手な生徒は身構えてしまい、負担に感じるかもしれないと感じました。また、表紙等、少し古典的で生徒がわくわくするようなものではない気がします。しかし、2次元コードであるとか「学びへの扉」の活用により授業者にとって授業しやすい構成になっていると感じました。

委員長：1年生の古典は、現代語訳が横に並列で書かれており、2年生以降は分けて書い

ているので、発達段階への気遣いがあると感じました。それから古典作品を年代別に年表で視覚的に捉えることができるのもわかりやすいと思いました。さらに「語彙ブック」がわかりやすく、言葉の世界が広がるのではないかと思います。言葉足らずが原因でトラブルになったり、自分の気持ちを言葉でうまく表現できなかつたりすることがありますが、コミュニケーション力の育成にも繋がると感じました。

委員：松尾芭蕉の奥の細道で地図とともに写真があって、古文が上段、2段目に現代語訳、3段目に言葉の説明があるというのが、発達段階による教材の導入の仕方なのかなと工夫を感じました。それから学習の見通しを持つための巻頭が見やすく、わかりやすいと思いました。さらに、「学びへの扉」が、学習の流れやポイントがつかみやすく、生徒が主体的に学ぶことへの手立てになると感じました。

委員：国語で感情を文章から読み取るということが苦手な生徒にとって、「学びへの扉」でポイントをしっかりと説明しており、学びやすいように配慮されていると感じました。ただ、やはり表紙や全体の教科書の作りが古典的で生徒にとってはとっつきにくいのかなと思いました。

委員：どの教科書にもそれぞれに良さがあるので、やはり最後は生徒にとってふさわしい教科書であることと、先生にとって授業がやりやすいものになることが重要であると思います。

②書写教科用図書選定について

委員長：それでは、続いて書写です。まず東京書籍についてご意見をよろしくお願いします。

委員長：「とん すう ぴたっ」という音で書き方を表現しているのが特徴的だなと思いました。

委員：中学校では頻繁に習字をするわけではないのですが、やはり姿勢であるとか、とめ、はね、はらいというのは大切ですので、音で書き方を表現するのは、感覚的にわかりやすいと思います。

委員：「書写活用ブック」は実用的な学びで将来役立つ内容になっていると思いました。また、トライやるのお礼状を書く時にも活用できるのではないのでしょうか。入学願書を書く時も。

委員：TPOとして、履歴書を書いたり、返信の「ご出席」の「ご」を消したりというのは社会勉強にもなると思いました。

委員：自分のノートの字を見直すというのもおもしろいと思いました。

委員：校舎や店の看板など、身近な文字について考える場面があり、美術的ではありませんが、生徒の文字への興味を引くことになるのではないかと思います。

委員長：それでは続いて三省堂についてお願いします。

委員：冒頭に谷川俊太郎の詩が取り上げられており、書写で詩を扱うことにどんな意味があるのか気になりました。国語の学習との関連付けがされているということでしょうか。

委員：詩を丁寧に手書きすることで、感じる温かさみたいなものがあるので、活字や手書きのよさを味わわせる意図があるのかもしれませんが。そう考えると、書写の良さを感じるきっかけになりおもしろいと思います。

委員：18ページの字の構成について、中心をしっかりと合わせるとか、上と下を比べて上がちょっと短いとか、同じ間隔で書くとか、バランスよく書くことで綺麗な字に見えると思うので、こういう部分を丁寧に示すというのが、おもしろい構成だと感じました。

委員：解説動画も多く準備されていて、これは教師がお手本としてこれまでしていたことですが、うまくいかすことで教師にとってのもの便利なのもかもしれないと思いました。机の上にタブレットを置いて書くことがちょっとどうなのかなと思います。

委員長：個別で学習するときにはいいと思います。

委員：文字の間隔や行間などが少しつまっているように感じて、やや読みにくいかなと思いました。

委員：左利きの学習者にも対応している解説動画や補助教材等のデジタルコンテンツがあり、多様性への配慮にも丁寧だと思いました。左利きであることで、書写はやりにくくて嫌いだということがあるので、こういった配慮はとても大事だと思います。

委員長：視覚的に見てわかりやすい配慮というのはとても大事だと思います。綺麗な字を書くことが苦手な教師にとっても、解説動画が充実していることはありがたいことだと思います。

委員：字を書くというのはどの教科にとっても学習する上で大切なことですので、書写と関連づけて、教科横断的な視点があるというのもいいと思いました。

委員長：続いて教育出版社です。

委員長：36、37ページの「文字の変遷」は写真も大きくわかりやすい内容で、生徒が文字に興味をもって取り組むことができるのではないかと思います。やはり、まず

興味をもたせるというのはとても大事なことだと思います。

委員：写真資料が豊富でいいと思いました。ただ、教科書の横幅が広いため机の上に置いて活動しづらくなるのではないかと気になりました。

委員：筆の運びなど手本がわかりやすいと思いました。点画の押さえを朱書きの濃淡で表しているのもわかりやすいです。

委員：左利きの生徒のための道具配置が示されているなど、多様性に配慮していることもいいと思いました。

委員：教科書が大きくて、これを見本として机の上に置いて活動できますか。机がそこまで大きくないから、そこは少し心配だと感じました。

委員長：それでは次に行かせていただきます。光村図書いかがですか。

委員：手本の横に穂先の向きや筆圧が書いてあり、筆の運び方がわかりやすく、イメージがわきやすくなると感じました。

委員：書写ブックが別冊になっていて活用しやすそうに思いました。書き込めるので、書写ノートのような形で活用できていいと思います。

委員：1年生から3年生まで系統性がある、国語の教科書ともリンクさせているのかなと感じました。ただ、字が小さく、やや読みづらいページがあるように感じました。

委員：手紙や入学願書等の書き方を学ぶことができ、日常生活に役立てることができるページがあるのもいいと思いました。

③社会科（地理的分野）教科用図書の選定について

委員長：次は社会科、地理的分野です。東京書籍をお願いします。

委員：字が小さいと感じました。

委員：かなり量があります。

委員：質問ですが、社会の教科書はどの教科書も、本文の周りは全部写真になっているのでしょうか。

委員：特に社会はいろんな情報を、資料集などの別冊を用意しなくてもいいだけの図表とか写真とかを載せている教科書が多いです。

委員 : わかりました。

委員 : どの教科書もカラフルなつくりになっていて、その中でいかにわかりやすく配列しているかとか新しいニーズは何か、最新のデータを使ってるか、今の時代に即しているかという面で違いを見せています。

委員長 : 今はいろんな資料を活用し、どのような課題があるかなどを考えるような内容になっています。そして課題解決に向けて、いかに話し合いができるか、ということが今の学習指導要領の中で言われています。

委員 : 探求的な課題を扱ったページが多く、主体的に学ぶ力をつけやすいのではないのでしょうか。

委員 : 文字がちょっと見にくいです。

委員長 : 49 ページの雨温図がとても分かりやすいです。

委員長 : 次に教育出版です。

委員 : 他の教科書と比べて少し写真が小さいです。

委員 : 127 ページの折り込みワイドの日本地図は子どもの興味を引き付ける。

章末に、学習のまとめがあり、知識・思考判断表現・主体的な学びの3本立てになるはずだが、この教科書はあまり多くないです。

委員長 : 結構いろんなところにSDGsの内容が入っている感じがあり、生徒に興味を持たせようとする意図が見えます。そこから学習につなげようとしています。

委員長 : この教科書は「・・・の技」のページがあり、学習を進めていくうえでのヒントとなりそうです。また、「世界の窓」のように学習が広まる箇所もあります。

委員長 : 次は帝国書院です。

委員 : 見開きにSDGsのことが載っており、写真とかページ構成とかがとても見やすかったです。

委員長 : 鮮やかですね。

委員：写真にしても地図にしてもあるいは表なんかも読み見やすいっていう感覚でした。

委員：地図帳を活用した学び方も、この教科書の中で載っています。デジタルコンテンツであったり、また教科書がワイドになっているので地図そのものにしても、写真にしてもすごくわかりやすいです。補足的なものとして地図帳が使われるのかなと思っていたが、カラフルでしたので、視覚的に捉えられるものだなと思いました。

委員：デジタルコンテンツのジオグラフでは立体化された資料を見ることができます。

委員長：「アクティブ地理」があり、その中で、課題解決に向けた取り組みを、また対話的な学習等をしていくと面白い授業になるかと思います。

委員：「技能を磨く」というところでも多くの選択肢があり、この中から先生が選び、授業で活かします。また、バランスよく選択肢があります。

委員長：班活動的な課題も多くあるので、対話的な学習に向いているのではないのでしょうか。

委員長：最後に日本文教出版です。

委員：地図などはもうちょっとはっきりした色合いがいいと思ってしまいました。

委員：写真は見やすいです。太文字と写真の番号がリンクしていてわかりやすいです。

委員：各単元、最初に課題が示され、目標を確認し、内容に入り、まとめ・振り返りのページにつながっているのが一つの特徴です。

委員：2ページで1つの内容なので、学習内容が分かりやすいです。

④社会科（地図）教科用図書の選定について

委員長：地図帳です。まず東京書籍からお願いします。

委員：開いた瞬間見づらいと感じました。

委員長：キャラクターを活用し、課題設定のヒントを提示する流れで、生徒の主体的な学

びにつながる工夫がありますね。ハチのキャラクターに考えさせる設定になっています。

委員：私のイメージでは、地図帳は補足資料的なイメージが強いですが、地図を使って何か課題にすることなどはあるのでしょうか。

委員長：地図帳で、特産物みたいなのを拾い上げたりなどをやっていくのではないのでしょうか。

委員：後ろの方に載っている資料は使いやすいです。

委員：統計データは見やすいですが、やや古い情報もありますね。

委員：デジタルコンテンツで都道府県の各地の写真を見ることができます。

委員長：次は帝国書院です。

委員：鮮明でクリアで見やすいです。

委員長：資料も充実しているように思いました。

例えば日本の工業にしても世界と日本の銀行とか後ろの方に資料として載っていますが、それも見やすいです。全体的に写真も多かったです。

世界の生活や文化というページを見ても他社では世界の住居の材料と世界の食文化と、世界の宗教の3つだけですが、帝国書院は、例えば言語であったりとか宗教だけでなく言語であったり、また衣装や料理とかなど、項目が多いですね。

たくさん取り上げられていていろんな生活文化の違いを発見できるような構成にはなっているかなと思います。

委員：立体的な鳥瞰図になっており、また、名所も載っている。その下にさまざまな情報がバランスよく載っています。また、鳥瞰図一つを見ても、カラフルに建物まで載っていました。

⑤社会科（歴史的分野）教科用図書の選定について

委員長：東京書籍をお願いします。

委員 : キャラクターが登場して、章の流れなど学習の方向性を示してくれる。

委員 : 対話で主体的・対話的で深い学びを広げられるコラムコーナーも面白いかなと思いました。

委員長 : スキルアップ、チャレンジするという主体的、対話的な学びに繋がるようなところがあり、学びを広げるための本の構成になっていると思いました。

委員 : 全体的に見やすく、繰り返し自分で年表とかを作成できる。生徒自身に自発的にやらせるような工夫もある。

委員 : 他社にもあるが、その中でも特に帯が見やすいです。

委員長 : 続いて教育出版です。

委員 : 写真とか資料が大きい。文字より図が多い印象です。リンクの番号も見やすいです。

委員 : 中心に資料がある感じですね。

委員 : 小見出しがなじみのない言葉があり、とっつきにくい感じがします。

委員長 : それを面白く感じる生徒もいると思います。

委員 : やや物語風ですね。歴史ゲームなども生徒は面白いかもしれないです。

委員長 : 帝国書院です。

委員長 : 左右に挿絵を掲載し、比較がしやすい。章の初めは挿絵で始まり、見方考え方を視覚的に捉えてから学習が始められます。

委員 : イラストや写真が見やすいです。

委員長 : アクティブ歴史などは歴史のテーマを対話的に学習できるような作りになっています。

委員 : SDGS の 14 テーマに教師が興味を持てそうです。

委員 : 写真に番号あるが、特に見やすいと思います。

委員 : 小学校や他の教科との連携をマークで示しています。

委員 : 日本の立ち位置を表した作りになっていて面白いと思います。

委員 : 写真が小さめで、自分が学習した記憶があり親しみがありません。

委員 : 見開きで描かれているタイムトラベルは時代の特徴が分かりやすいですね。

委員長 : 山川出版です。

委員 : 高校の教科書のような感じ。またはすぐれた資料集という感じがする。やや字が小さいですね。

委員 : 興味がある子はどんどん学習が進められるが、苦手な子はおなかいっぱいになると思います。

委員 : 章の初めが、日本と世界との年表、上側に日本の年表があって写真がある。下には世界の歴史載ってその下にまた写真があります。すごく世界と日本という部分を大切にした教科書だと感じました。

委員長 : 次に日本文教出版です。

委員 : これもキャラクター、イラストが多く親しみやすいです。

委員 : 先人に学ぶ、近代の女性等のコラム等、現代的な人権をテーマにしています。

委員 : 歴史を掘り下げるページがあるが、歴史に興味ある子はすごく楽しいと思います。

委員 : 単に学ぶだけではなくて、視野が広がる工夫があると思います。

委員 : SDGs のマークは分かりやすいです。

委員 : 学習課題が示されてから学習が始まっています。

委員長 : 自由社です。

委員長 : 人物は多く出てきます。

委員 : もっと知りたいというコラムがあるが、さらに深めていくような仕掛けは教科書には大事なのかな。

委員 : デジタルコンテンツがないですね。

委員 : 単元が連番になっているので、歴史が連続しているという実感を持たせる工夫と
いいえます。

委員 : 帯がないから番号で指示できるのはわかりやすいかな。間違いが少ないと思いま
す。

委員 : 何時代とかの他の教科書には意外と大きく帯がついていたけど、ないので使いに
くそうです。

委員 : 振り返りなどで意見交換ができるが、全体では少なく感じます。

委員長 : 育鵬社です。

委員長 : コラムのコーナーがたくさんあり、子供たちのその興味を引くような工夫がされ
ているなと感じました。

委員 : デジタルコンテンツは全て NHK のスクールの方へ飛んでしまう。独自のコンテ
ンツはないということですかね。

委員 : これは書き込み式になっているのですか。

委員 : 知識理解から学習が始まる感じですね。

委員 : 単元の最後にある学習のまとめがワークのような作りですね。

委員 : 知識理解から始まって、技能・表現で話し合い、考えましょうというような作り
ですね。

委員長 : 最後は、令和書籍です。

委員 : 縦書きが特徴的です。小説のような歴史書のような教科書、サイズは小さいで
す。

委員長 : 自分で学習したい、学びたいという子にとっては良いですね。

委員 : 対話的な学びは難しいですね。

委員 : 一般向けではないと思います。

⑥社会科（公民的分野）教科用図書の選定について

委員長：東京書籍です。

委員：SDGsのマークがないのかな。分かりにくいです。

委員長：章の導入で「誰を市長に選ぶ？」や「コンビニの経営者になってみよう」などの発問があり、学習する前にみんなで話し合う工夫があると思います。

委員：P60から61の「18歳でできることと20歳でできること」の比較があり、18歳になって選挙権が与えられることについて高校になってからでなく、中3で取り挙げているのはこの教科書の特徴ですね。

委員：思考ツールが多く、多様な考え方につながると思います。

委員：デジタルコンテンツがとても充実していました。

委員長：教育出版です。

委員長：SDGsのマークが色々なところに散りばめられていて、例えばP34～35であればなんでこのようなルールを作る必要があるのだろうという発問があり、常に対話的な活動が意識されている教科書です。

委員：教科書の右下に「意見交換をしよう」というのがあるが、これからの社会を生きていくうえで重要な議題が散見できました。このような話し合いができることは良いことだと思います。

委員：例えばP49の「いじめ防止について話し合う小中学生」とか、P53の「〇〇市コロナいじめゼロ宣言」などを取り挙げている。このようなことも子どもたちにとっては身近で良い資料だと思います。

委員：公民の窓は学習内容が分かりやすくなる工夫がされていると思います。

委員長：LGBTQや現代社会の問題等も取り上げていました。

委員長：帝国書院です。

委員：導入時の写真はインパクトがありますね。様々な考え方をひき出す工夫ですね。

委員：P 5、6のまとめのコラムやQRコードなど内容が豊富でSDGsが26テーマも取り上げ方として先生の視野も広がると思います。

委員長：P 74のように学習前に絵を見て課題を考えることでアクティブラーニングが期待できる。アクティブ公民は対話的な学びにつながります。

委員：P 112、113の「持続可能な町づくり」やP 108、109の「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」を見て公民でこのような勉強をするのだと感心しました。

委員長：播磨町でも子ども議会があるが、このような自分たちの町を良くしようと行政に関心を持ってほしいです。

委員長：日本文教出版です。

委員長：例えばP 128、129章の始まりが漫画で示され、流れがわかりやすい。

委員：統計や資料が新しいと感じます。

委員長：P 56、57でまちのバリアフリーでは点字が実際に触って実感できるようになっています。

委員：デジタルコンテンツは豊富ですね。

委員長：自由社です。

委員長：内容が少ないように感じます。

委員長：デジタルコンテンツがない。タブレット学習にはつながりにくいです。

委員長：尖閣諸島や日本人拉致事件については非常に詳しく載っていました。

委員長：P 139の為替の図は、円高円安によって同じ車の値段が違うなど非常にわかりやすいと思います。

委員長：育鵬社です。

委員：例えば食品ロスを環境保全や経済など違う視点から捉えることができます。

委員：キャラクターの服装に詰襟学生服やセーラー服などがあり、多様性への配慮は少ないかな。

委員長：P 7 4、7 5 はこれから憲法を学ぶ上で人による価値観の違いや、P 1 1 4、1

1 5 ではこれからの政治に自分が何に重きを置くかなど意見交換を交わし、深く広く考えさせるなどの工夫がありました。

委員：デジタルコンテンツがNHKの動画にリンクしていました。

⑦音楽科（一般）教科用図書の選定について

委員長：一般の音楽、教育出版をお願いします。

委員：教育出版はよかった。あの丘の向こうからなどでも楽譜と歌詞の配置が見やすくて分かりやすいです。音符と歌詞の対応も大事だが、歌詞のみも掲載されることにより学習しやすいです。また読み返しもできると思います。

委員：全体的に大きくて見やすいが、選曲はどうか。私たち世代でも乗っていたような曲が多く載っていました。今の子どもたちがなじめるでしょうか。

委員：歌の教科書かというぐらい、たくさんの曲が載っています。新しい曲、私が知らない曲も多く載っていました。ユニバーサルデザインの観点では、写真がやや分かりにくいのではないのでしょうか。

委員長：一年生の47ページは、やはり楽器が目立たないですね。ごちゃごちゃしていて。

委員：鑑賞教材は教師の力量が問われる構成ですね。

委員長：はい、つづいて教育芸術社をお願いします。

19ページに「学びのコンパス」という内容があって、自分で考え、グループで話し合い、表現の仕方を工夫しようという形となっています。主体的に、そして広げていって対話的な学びにつながる工夫があると思います。

委員 : すべてをまとめると、こちらの方が分かりやすい教科書だと思います。

委員 : 教科書として、鑑賞、音楽の基礎、音楽の約束、音楽を形作っている要素も分かりやすいです。

委員 : 鑑賞教材の重要語句などは分かりやすく示されています。

委員 : 伴奏のデジタルコンテンツは使いやすいし、自主練習もできると思います。

委員長 : 50ページ・51ページの日本の音楽の流れが分かりやすいです。

⑧音楽科(器楽)教科用図書の選定について

委員長 : それでは、器楽をお願いします。まずは教育出版社からお願いします。

6ページを見ると、リコーダーについて載っているが、まず1音ずつ、左手だけ、右手を加えてみようという感じで段階的な配慮があります。

委員 : 尺八などが載っているが、これは机上ではあるが学習しなければならないのでしょうか。

委員長 : 実音テスト等では出てくるので、やはり楽器としては学ばなければならないのではないのでしょうか。こういう楽器があって、こういう音であるということは学ぶと思います。

委員 : 鑑賞や日本の文化など、学習指導要領に載っている内容を取り上げるのは大事です。それをどこまで学ぶかですが、箏や三味線、その他の楽器などは教育出版社の方が詳しく載っていますね。

委員 : 映像を見ながら学習できるデジタルコンテンツが充実しています。

委員長 : それでは教育芸術社をお願いします。

こちらは12ページからリコーダーが載っています。易しい曲からだんだん難しい曲へという構成になっています。

委員 : パプリカとか、歌謡曲じゃないけどなじみのある曲がありますね。

委員 : 音楽の教科書と関連を持たせた方がいいのでしょうか。

委員長：74ページには笑点のテーマとかありますね。

委員：笑点は昔からあるが、これを取り上げるのが逆に今風なのかもしれないですね。

委員長：結構有名な曲が多いですか。

委員：美女と野獣とか。モルダウも私たちのときからあります。千の風になっても有名ですね。

委員：104・105ページには楽器の図鑑があるが、実物大ではないけれど大小関係はわかる。前の教科書で問題になっていた、ビオラとヴァイオリンの違い、ビオラの方が大きいことはこれを見ればわかります。

委員：伴奏のデジタルコンテンツは自主練習に使えます。また、打楽器の演奏方法の写真は充実していました。

委員長：形のイメージとか、写真で分かりやすいです。

委員長：他に、全体を通して、ご意見はございませんか。

【意見なし】

委員長：それでは、ご協議ありがとうございました。以上で今日の協議事項終了となりますので、進行を事務局にお返しします。

司会：委員の皆様方、ご協議本当にありがとうございました。それでは、事務局より連絡事項をいたします。

事務局：残りの教科については、来週、29日の月曜日、今日と同じ13時00分から合同説明会を行いますので、よろしくお願いいたします。

司会：何かご質問等はございませんか。

【質問なし】

司会 : 以上をもちまして、第2回 令和6年度播磨町教科用図書選定委員会を終了いたします。 本日は、どうもありがとうございました。

(17:45閉会)